

業務そくほう

日本貨物鉄道産業労働組合

2025. 11. 10

No. 746

2025年年末手当 会社の考え

11月10日(月)、会社の考えを行いました。以下、報告します。

会社・2025 年度夏季手当において、6半期ぶりに 1.6 ヶ月台の壁を超えたところであり、引き続きこの壁を超えられるよう議論していきたいと考えている。

組合・期末手当、年間4ヶ月以下が25年以上も続いている。他の企業は、積極的に賃金改善を進めており、このままでは、社員の士気は下がり、会社の経営状況は一向に改善されない。

(会社の考え)

2025 年度上半期の状況と足元の輸送動向 2025 年度上半期は「JR 貨物グループ長期ビジョン 2030」と、「JR 貨物グループ中期経営計画 2026」（以下、「中計 2026」）で定めた基本方針を踏まえ、鉄道事業の基盤は安全であるという認識のもと安全体制の強化に継続的に取り組みながら、「作業記録の書き換え等の不適切事案の再発防止」ほか、2025 年度事業計画に掲げた 6 つの取り組みを進めてきた。

2025 年度上半期における鉄道事業はエコ関連物資の安定的な発送に加え、一部顧客における自動車部品の増送が継続したこと、事故・災害による輸送障害が例年に比べ少なかったこと等により輸送量はコンテナ・車扱全体で前年比 104.2%となり、車両修繕費や線路使用料等の費用増があったものの鉄道事業営業利益は対前年+19 億円となった。また、関連事業では社宅跡地の土地持分譲渡があったこと等により営業利益は対前年+11 億円となったことから、JR 貨物単体の経常利益は対前年 30 億円改善したものの、△1 億円となった。

足元の輸送動向は、飲料メーカーに対するサイバー攻撃によりビール・飲料の出荷が減少したほか、北海道の農産物が猛暑や降雨不足により生育不良となったこと等から、当社の 10 月末時点の収入動向（速報）は、コンテナ車扱合わせて 10 月計画から△552 百万円、95.7%となっており、厳しい状況と言わざるを得ない。

今後の収入挽回策として、2025 年度事業計画で掲げている、国の支援を受け導入した「31ft コンテナの最大活用」や、空回送コンテナの積荷化に向けたマッチングの提案を強化することによる「定温輸送の拡大」、物流の 2024 年問題を背景とした「中距離帯輸送の拡充」を確実に実施していくとともに、新規顧客の獲得に向けた営業活動を粘り強く続けていくことで、上期の減収の挽回を図る。また、JR 貨物ロジ・ソリューションズ（株）と協働した営業活動による成約案件も出てきていることから、総合物流の営業活動も積極的に行い増収につなげていきたい。

以上、現時点においての会社の考えを申し上げたが、2025 年度上期の社員の奮闘に応えるべく経営状況を踏まえ出せる限りの回答をしたい気持ちもある。2025 年度上期決算の経常利益は赤字であったものの、2025 年度夏季手当において、6 半期ぶりに 1.6 ヶ月台の壁を超えたところであり、引き続きこの壁を超えられるよう議論していきたいと考えている。

本日時点で申し上げられることは以上である。

組合・会社の厳しい経営状況は理解するが、経営状況は単体ではなく連結で判断して頂きたい。2026年3月期第2四半期決算の連結経常利益は12億となっており、昨年よりも30億円改善しており、これは社員一人一人の頑張りであり、失った信頼回復に向けても、相当な覚悟をもって業務についていることを強く認識していただきたい。

また、2026年3月期の業績見通しでは、連結経常利益41億となっており、この見通しをクリアするためにも社員のモチベーションを上げなければならない。これまで何度も発言しているが、1998年度期末手当、「夏季2.15」「年末2.1」年間4.25ヶ月を最後に、25年以上も長い間、期末手当年間4ヶ月に届いておらず、この数値は他の企業と比べても低額であることは明白である。

喫緊においても、2022年（夏1.72 冬1.62）、2023年（夏1.62 冬1.63）、2024年（夏1.61 冬1.63） 2025年（夏1.73）と低額回答が続いている。

「会社の経営状況が厳しいから、我慢してほしい」は誰でも言え、経営状況が厳しい時こそ経営陣の手腕が試される。会社の状況も厳しいが、社員の生活はそれ以上に厳しいことは、重々承知していると思うが、人材確保・人材育成・人材定着のためにも、会社が覚悟を決めて賃金改善を推し進めていかなければ優秀な社員は離れていき会社の未来はない。今後、人口減少が想像以上に早く進んでいき、人材確保の競争が激しさを増していく。JR貨物ブランドを維持構築するためにも、現場で働く社員の悲痛な叫びに応えるべく、回答日には、誠意ある姿勢をお願いしたい。

会社・頂いた主張はしっかり経営陣に伝えておく。

組合・回答日は、何日になるのか。

会社・11月19日を予定している。

組合・了解した。誠意ある姿勢をお願いしたい。

回答予定日は、11月19日（水）です。
